学校番号	1202

令和８年度　家庭科

教科	専・家庭	科目	（学）生活科学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	生活学 Navi 資料＋成分表　2026（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習や実験を中心とした授業を通じ、家庭生活の具体的な課題に気づき、解決方法を考え、生活改善に向けた表現、学習を行う。

2　学習の到達目標

【知識および技術】
生活活動の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
生活活動に関する課題を発見し、生活者に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の構築をめざして自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、特に食生活、衣生活について理解を深め、生活を主体的に営むために必要な技術を身につけている。	生涯を見通して、生活の中から特に食生活、衣生活についての問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取っ組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	食生活を作る	5大栄養素 その他の食品 食品の衛生	a:５大栄養素と水についての人のからだの中での働き、人のからだの成分についての基礎的知識を習得できる。 b:食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。 ｃ:実習に積極的に参加しようとしている。	・授業プリント ・小テスト	・パフォーマンス課題 ・レポート課題 ・小テスト ・作品	・調理実習観察 ・レポート課題 ・観察
二学期	食生活をつくる	食事摂取基準 食品群別摂取量のめやす 調理の基本	a:食品群別摂取量を理解し、何をどれくらい食べるのかを理解することができ、実際にバランスのよい食事計画つなげることができる。 b:食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。 c:実習に積極的に参加しようとしている。	・授業プリント ・小テスト	・パフォーマンス課題 ・レポート課題 ・小テスト ・作品	・調理実習 ・レポート課題 ・観察
	衣生活をつくる	繊維の種類と特徴、糸や布について	a:繊維の種類と特徴と用途が理解できる。 b:織物・編物の種類や構造が理解し、表現できる。 c:実習に積極的に参加しようとしている。	・授業プリント ・小テスト	・パフォーマンス課題 ・レポート課題 ・作品	・実習 ・レポート課題 ・観察
三学期	衣生活食をつくる	洗濯の種類と方法、洗剤のはたらきについて 家庭での洗濯方法・保管の方法	a:湿式洗濯。乾式洗濯などの洗濯の種類や、洗剤のはたらきについて理解できる。 b:衣服材料・衣服管理・整理において適切な判断ができる。 c:実験に積極的に参加しようとしている。	・授業プリント ・小テスト	・パフォーマンス課題 ・レポート課題 ・小テスト ・作品	・実験 ・レポート課題 ・ 観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度